

「福島県いわき市から参りました。昨日の地方紙朝刊のトップニュースは何だと思われませんか？」。大阪市中央公会堂で、私は持参した新聞を手話し始めました。東北楽天ゴールデンイーグルスがリーグ優勝を遂げた翌日、九月二十七日の朝刊です。誰もが歓喜に沸く記事を思い浮かべたようでした。しかし、一面トップ記事は「福島第一原発 港湾内フェンス破損」。福島の実情を伝えたくて、選んだメッセージでした。

九月二十八日、「第三回社会イノベーター公志園」の全国大会開会式(社

東北 復興日記

61



この事業は、社会課題を解決にさまざまな手法で挑み、未来を切り開く。十六人の挑戦者がそれぞれの思いを語る場(変革者)たちを全国が与えられました。私もその一人でした。写真。この事業は、社会課題を解決にさまざまな手法で挑み、未来を切り開く。十六人の挑戦者がそれぞれの思いを語る場(変革者)たちを全国が与えられました。私もその一人でした。写真。この事業は、社会課題を解決にさまざまな手法で挑み、未来を切り開く。十六人の挑戦者がそれぞれの思いを語る場(変革者)たちを全国が与えられました。私もその一人でした。写真。

この連載は、東京のNPO法人「女子教育奨励会」と、被災地の女性たちが協力して復興に取り組む「結プロジェクト」の協力を得て、掲載しています。



いわきおてんとSUN
企業組合理事長
吉田恵美子さん

福島を変革 伝える旅

会イノベーター公志園300人委員会主催)が行われ、十六人の挑戦者がそれぞれの思いを語る場(変革者)たちを全国が与えられました。私もその一人でした。写真。この事業は、社会課題を解決にさまざまな手法で挑み、未来を切り開く。十六人の挑戦者がそれぞれの思いを語る場(変革者)たちを全国が与えられました。私もその一人でした。写真。

この連載は、東京のNPO法人「女子教育奨励会」と、被災地の女性たちが協力して復興に取り組む「結プロジェクト」の協力を得て、掲載しています。